

学 校 評 価

早いもので、令和2年度も2月の中旬に入りました。6年生は卒業までの登校日数が本日を入れて「24日」。年が明けてからのときの流れの速さを改めて実感しています。現在、それぞれの学級では、学習のまとめや2月26日（金）に予定されている「お別れ集会」への準備などへ元気に取り組みを進めているところです。

さて、昨年末より実施しました学校評価の集計が終了しました。まずは、その集計結果をお知らせします。

項目	観 点	保護者	地域	学校	児童	平均 R 2	平均 R 1
1 指導方針	学校は、「思いやりの心と自ら学ぶ意欲をもち、心身共にたくましい子どもの育成―静と動のけじめをつける」という指導方針にもとづき、特色ある教育活動をしようと努力している。	3.3	3.7	3.4	3.2	3.4	3.3
2 子どもの様子	赤崎小学校の子どもたちは、友達と仲よく過ごし、学校に楽しく登校している。	3.4	3.7	2.9	3.6	3.4	3.2
3 授業	学校は、子どもをよく理解し、わかりやすい授業に努めている。	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.3
4 環境整備	学校は、安全に気を配り、教育環境を整えている。	3.4	3.6	3.5	3.5	3.5	3.4
5 人権教育	学校は、命の大切さを基本にし、思いやりの心を育てようとしている。	3.5	3.7	3.5	3.4	3.5	3.3
6 広報・啓発	学校の様子が、学校だよりやホームページ等で、よくわかる。	3.3	3.8	3.6		3.6	
平 均		3.4	3.7	3.4	3.4	<b>3.5</b>	3.3

\* 上記表中の数値は、小数第2位を四捨五入して表記したものです。

平均[3.5]という数値は、単純に考えると10人中、5人が評価4を、残り5人が評価3をつけたと考えることができます。評価の項目、設問が異なりますので、そのまま比較することはできませんが、昨年度の平均が[3.3]であることも踏まえ、まずまずの評価をいただいたと捉えることができると思います。

この比較的よい評価は、子どもの変容を保護者や地域の方々に認めていただいたからだといへん感謝しています。そして、素直にうれしく感じています。当然、子どもの変容は、学校の指導だけで実現できるものではありません。子どもを中心に据え、学校と家庭、地域の方が子どものよりよい成長をともに願い、あゆみを同じくする日を一日一日と地道に積み重ねることができたからだと思います。ありがとうございます。

しかし、いうまでもなく赤崎小学校の教育活動はこれで終わりではありません。今回、得られた結果を整理し、課題は課題としてしっかりと受け止め、次に生かしていかなければいけないと思っています。課題解決のためのご協力を含め、今後も赤崎小学校の子どもたちのよりよい成長をめざした教育活動推進のために、さまざまな点でご理解とご協力をお願いすることとします。どうぞよろしくお願いたします。

まず、表に記載している数値に関してですが、特徴的な部分を幾つか挙げてみたいと思います。

コロナ禍で思うような教育活動を展開できなかったということはありますが、No.1 指導方針は、全般的に評価が低く、特に児童の評価では最も低くなっています。毎日のように朝の始まりや給食時の放送において委員会の子もたちが言ってきてくれた『協力し合い、きまりを守る元気で優しい赤崎っ子』の実現をめざしてがんばりましょう』ということ。そして、その実現のために「はさみ歩き」「あいさつ運動」「友達を大切にする」という3つの中から学級で頑張る視点を決めて、さらに詳しい目標や手立てを考え、頑張ってきた児童会活動。この自分たち自身ががんばってきたことが子どもたちの中ではうまく反映できなかったことが残念に思われました。子どもたちががんばっていることの意味づけをしっかりと押さえ、自覚させていく必要があったように考えています。

No.2 子どもの様子では、学校と保護者・児童間においての評価の差が一番大きく見られています。これは、今年度、学校が特に気を付けてと指導をおこなった項目で、まだまだ十分ではないと厳しい目で評価を行い、児童は指導を受けて頑張ったという意識から評価が高くなるといったことが考えられます。今後、継続して指導を重ねていく中で、差が縮まっていくものと考えています。

No.6 広報・啓発では、学校や地域の方の評価と比較すると保護者の評価が低くなっています。保護者のみなさんがほしい情報がうまく伝わっていないということだと考えています。学校通信やホームページをさらに充実させ、情報発信に努めたいと思います。

次に、「赤崎小学校の子どもたちを今後どのような方向に育てていけばよいと考えられるか」目指す子ども像についてお尋ねをしたところ、以下の様なコメントが寄せられましたので、紹介します。なお、表記中、保は保護者を、地は地域の方を、職は学校職員を表しています。

#### 1 思いやり(相手意識)・・あいさつ、ことばづかい、

保 挨拶をしない子どもが増えているように思います。挨拶はコミュニケーションの基本だと思いますので、力を入れて欲しいです。

保 朝の交通当番の際、地域の方がせっかく立ってくださっているのに、あいさつをしない事が多いので、なんだか申し訳ない気分になる。

保 挨拶でき、掃除もきちんとしてほしい。授業参観で伺ったときに、トイレが汚いときがある。子どもたちだけに掃除をさせず、先生たちもチェックするべきだと思います。

保 年下の子を思いやる気持ち。挨拶をしっかりする。を育成していただけたらと思います。

保 参観などで学校を訪れた時、子どもからの挨拶があまりなく、こちらから挨拶しても返事がない時があるので、積極的に挨拶ができたらと思います。

保 挨拶、感謝、謝罪など基本的な事が自然に言えたり出来たりするような、子どもらしい素直な思いやりのある心と行動が育まれる事を願います。

保 旗当番をしていると、あいさつをしないで通り過ぎていく子どもたちが多いです。

保 挨拶が出来、指摘されても無視しない子。

保 挨拶が出来ない子どもが多いと思います。登下校の道で。

保 交通当番の時いつも思うのが、あいさつを自分からしない子が多い。こちらが話しかけても知らんぷり...悲しいです。まずは、自分からあいさつをすることの気持ちよさというものを知ってほしいと思います。

保 学校に行ってもいつも思うのが、掃除が行き届いていない。子どもたちは挨拶をしない。先生も挨拶をしない。

保 人の痛みがわかる人

保 世の中にはいろいろな人がいて当たり前なので、差別なく接する事ができる人間になって欲しい。生きていく上で当たり前の事(大便、生理など)をからかったりしないで、正しく理解してほしいので、家庭ではもちろん、学校でもしっかりと教えて欲しいです。

保 学力も大事だと思うが、まず1年生では学力の前に、小学校はみんなと協力して思いやりの気持ちをもって過ごす事を教えてほしい。

保 最近、子どもの言葉遣いが気になります。乱暴だったり、男女関係なく人を傷つける言葉を平気で使っていたりします(死ぬ、クソ、バカなど)。家庭でも注意はしますが、学校でも指導していただけたらと思います。下の子は入学してから特に口が悪くなりました。上学年の子と遊ぶようになったことも一つだと思いますが...気になって...

保 優しい子どもに育て、逞しい子どもに。

保 友達と仲よく思いやりのある子に育つような子にしたい。家庭で行わなければいけないことであると思いますが、集団教育の中でしか学べない事を学んでほしい。

地 挨拶が出来る子どもになって欲しいです。また、言葉遣いが気になります。「言葉遣いは心遣い」という格言がある様に、発せられた言葉はその人の人柄を表します。心に響く言葉遣いができる様、私達も見守っていきます。

地 地域内での朝のあいさつ、自分からすすんでするという事が全くできてない。学校内での職員にはできていると思うが……どういう事？言われたらする。内向的すぎる。(特に低学年)

地 あいさつで大きな声で「おはようございます」って、とても気持ちがいいものであり、言える本人の心のモチベーションにもつながってとてもいいと思いますが、現状……。

地 まだまだ挨拶ができていないように思われます。恥ずかしいのか、おとなしいのか分からないので苦慮しています。声掛けはいつもしているのですが、返ってきません……

地 学校外でのあいさつができる子。

地 小学生時代の友人は、生涯の付き合いと成る友です。良い友に恵まれますように。

職 仲間を思い合いながら、互いに磨き合う子ども。

職 きまりを守り、思いやりをもって接することができる子ども。

職 思いやりの心が欠けている場面が普段の様子から見られることが多い。廊下歩行や落とし物の多さにも繋がると思う。

職 言葉遣い(友達、先生に対する)の指導から始めて、友達に対するやさしさ(思いやり)を育てていけたらいいなと思っています。

## 2 規律(けじめ)・登校班、衛生、縦割り活動、清掃活動

保 関係ないことなのかもしれませんが、集団登校ありますけど、みんなバラバラで行っているのので意味がないような気がします。登校班での徹底をしていただければいいなと思います。そうしないと、誰がいて誰がいないのか把握できないんじゃないでしょうか。

保 登校班で登校となっているが、遅刻している子を毎日のように見ます。高学年の子こそ低学年のお手本となってほしい。

地 下校時、子どもの交通マナーについて苦情を耳にしました。内容(飛び出し、車と並走する等、危険な動きがあるそうです。これについては、保護者のしついで頑張っていただきたいものですね。

地 朝から気分が調子に乗らないのか登校になじめない子どもさんがおられるのですが、何人かの子どもさんの思いやりの心が通じ合うのでしょうかね、それからは気持ちよく一緒に登校ができています。

保 (再掲)朝の交通当番の際、地域の方がせっかく立ってくださっているのに、あいさつをしない事が多いので、なんだか申し訳ない気分になる。・挨拶でき、掃除もきちんとしてほしい。授業参観で伺ったときに、トイレが汚いときがある。子どもたちだけに掃除をさせず、先生たちもチェックするべきだと思います。

保 (再掲)学校に行っても思うのが、掃除が行き届いていない。子どもたちは挨拶をしない。先生も挨拶をしない。

職 「きれいな学校」にはほど遠い。廊下、階段の白線をきれいになど。

保 もう少し、コロナ対策を強化してほしいです。こまめな消毒等。ハンカチやティッシュの貸し借りもあるようなので、忘れ物がないように助言してほしいです。

地 縦割教育はされていると思いますが、もっと上級生にその役割を教え込んではいかがでしょうか。

職 (再掲)きまりを守り、思いやりをもって接することができる子ども。

職 自ら考え、判断し、行動できる子ども。

## 3 学力・基礎学力、ICT

保 勉強が疎かであったり、漢字テストなど、できるまでさせて欲しいと思います。前回の漢字100問テストなどできないままです。再テスト実施して頂く等、ある程度覚えるまでして欲しいです。

保 授業の中で、子どもが質問しやすい環境を整えたいと思います。

保 デジタルに強い子ども よくスマホ等は何時間以内とかいうたより等を見るが、現代社会はデジタルが基本であり、小さいころからその機器に慣れ使用の方が成長した時の糧になると考える。いつまでも昔の考えで教育しても時間の無駄だと思う。

## 4 その他

保 赤崎小学校でのクラブ活動(サッカーやバドミントンなど)を行ってほしい。

保 シーカヤック体験等してみてはいかがでしょうか。

地 本年度は何かと御苦労が多かったことと拝察いたします。本館に来た子どもたちは、素直で明るく活気のある子たちばかりでした。特に町探検の2年生は先生の御指導が行き届いていました。

地 ゴールの見えないコロナ禍の中、今までとはまた違う配慮が必要かと思っています。子どもたちの周りの大人が、急がず急がせずゆったりとしていけたらと考えます。

また、児童には赤崎小学校で自慢できるものを挙げてもらいました。様々な回答が寄せられました。以下、その中で多かったものを紹介します。

#### 赤崎小学校で自慢できるもの

- ・思いやり・友情：87（6年：10，5年：8，4年：14，3年：10，2年：27，1年：16）
- ・元気明朗：50（6年：19，5年：15，4年：5，3年：2，2年：4，1年：5）
- ・学習：37（6年：2，5年：1，4年：6，3年：13，2年：3，1年：12）
- ・あいさつ・返事：32（6年：3，5年：11，4年：4，3年：4，2年：7，1年：3）
- ・けじめ・きまり：14（6年：1，5年：3，4年：3，3年：1，2年：1，1年：5）

さらに、めざす子ども像とは少し違う、言ってみれば「要望」でしょうか。以下のようなものが寄せられています。確認を行い、改善すべき点はしっかりと改善していきます。

- 保 子どもと担任の先生との信頼関係、保護者としても安心してるところです。親は我が子を守るべきではありますが、学校側と保護者の信頼関係の誤差が生じている気がします。なんで、そうしていかないといけないのか。何が、悪いのか。何で、自ら子どもたちを守ってくれないのか。不信に抱くことがあります。
- 保 子どもにとって思い出するときの一つでも多く楽しかった事が増えるような学校生活を望んでいます。どのような子どもを育成するかではなく、一人一人を見守り、指導いただけたら。私の理想です。
- 保 先生の決めつけた指導がたまに見受けられるので気を付けてほしい。
- 保 担任及び先生方の子どもたちへのひいき、差別をなくしていただきたい。度々あるようなので。
- 保 放課後に友達を誘って駄菓子屋に行く等(お金がかからむ事)はやめて欲しい。行くなら個人で行って欲しい。
- 保 学校で勉強面、生活面色々で指導して頂き、感謝しています。家庭教育の差で大人をなめているのかなという様子があるので、各家庭での子どもとの向き合い方やしつけについて、親子の絆について各々の保護者がより真剣に考えることも必要なのではないかと考えています。
- 保 項目1に「教育活動をしようとして努力している」とあるが、方針に対し努力することは当たり前であって、具体的に何をしてどういう成果があったかが分からないと回答できない。
- 保 玄関外の階段は危険。給食エプロンの傷みがひどい。
- 保 生徒に対しての愛情が感じられない。

まずは、たくさんの貴重なご意見をいただき、本当にありがとうございました。この学校評価で全てを語ることは勿論できませんが、それでもこの数値とコメントをみると「思いやり(相手意識)」、「規律(けじめ)」、「学力向上」というキーワードが浮かびあがってくるように思います。

特に多くのご意見をいただいた「あいさつ」に関しては、No.1 指導方針のところ記載しましたように、子どもたちは、学校の目標に近づく手立ての一つとして、今年度後半から校内におけるあいさつ運動に取り組んできました。その結果、校内においてはあいさつがよくなってきています。いわば、「あいさつの芽」が顔を出してきているところです。今後、この芽を校外という子どもたちの生活の場面に広げていかなければいけないと思います。しかし、そのためには、学校の中からの働きかけ、指導だけでは十分な効果を上げることができません。学校では、なぜあいさつをしないといけないのか、どんなときにするとよいのか、そのようなことを判断し、行動できる子どもを育成していきたいと考え、取組を続けています。ただし、その実践の場である校外生活においては、学校だけでは限界があるのです。どうか、保護者、地域の皆様方の力を貸してください。一緒に子どもたちを育てていきましょう。

「まとめと準備の月」である2月、これまでの取組を整理し、子どもたちに対し、そのがんばったことできるようになったことを伝え、称賛していきたいと思えます。同時に、限られた時間ではありますが、次の年度へ向けて、なにをなすべきかを考え、その準備をおこなっていかなくてはならないと思っています。

みなさん方からいただきましたご意見はしっかりと受け止め、次年度の教育活動へ生かしていきます。そして、保護者・地域の皆様のお力を借りながら、よりよい赤崎の子どもたちの育成に励んでいきます。ご協力を今後ともよろしく願います。

また、今回、ここに記載はしていませんが、匿名で子どもたちの状況を心配されているご意見がありました。こちらに関しましては状況を確認しながら、改善すべき点は改善をしているつもりですが、匿名であるために認識にズレが生じていないか確かめたくても誰に確かめようもないもどかしさがあります。個人情報を守りますので、ご相談がある場合はお名前を伝えていただきますようお願いいたします。学校に抵抗感があるようでしたら、PTA役員さんを通じてでもよいと思えますので、よろしく願います。